

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と 埼玉県和光市との相互協力・連携に関する基本協定の締結



【ポイント】

- 自動運転をはじめとする先端技術の実装や共同研究などにより、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成を図り、関連する学術の発展に寄与することを目的とした協定を締結
- 自動運転技術の社会実装に貢献、地域交通の充実及び産業の振興、特色あるまちづくりに関する研究を実施
- 教育・人材育成に関する取組を実施

【概要】

- 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構【機構長 大口 敬】と埼玉県和光市【市長 柴崎 光子】とは、相互協力・連携に関する基本協定を令和7年9月24日に締結しました。
- 両組織が協力・連携して、自動運転バスのレベル4社会実装に向けた検討や開発を実施し、地域への自動運転サービスの導入を着実に推進することを目指します。また、新たなモビリティの地域交通、関連する産業に資する検討を行います。



締結式の様子
柴崎市長（左）と大口機構長（右）



自動運転技術に関する研究を担当する中野教授（右）
を交えて